

利用しやすい 複合公共施設を



くばき 宗一
久保木 宗一 議員

Q 清見屋跡地に建設される図書館・公民館機能を含む佐原駅周辺地区複合公共施設は、大規模修繕ではなく、新築とした理由および複合公共施設とした理由と概要は。

覚室、音楽練習室一室に設置予定です。完全な防音の部屋は、多目的ホールと音楽練習室。視聴覚室は簡易的な防音設備です。

A 国庫補助金などの有利な財源が活用可能なこと、合築による効率的な運営や工事中も利用可能なことから複合化させた上で、移転、新築することとしました。施設は、4階建てで、1階に子育て世代支援施設やテナントなど、2階は図書館など、3階は主に公民館機能、4階は多目的ホールなどです。

Q 災害時避難対策として小ホールの観客席の両サイド通路は確保されているか。

A 実施設計の中で事業者と確認していきます。

Q 引き出し式観客席は、歩く時のきしみ音の出やすい金属製かきしみ音の出ない木製か。

A 実施設計の中で決定しますが、フレームは金属製です。

市民の利用時間は

Q テナントはどんな事業者が入るのか。テナントおよび施設の利用時間は。

A 維持管理、運営業務分で15年間の総額は21億6260万円、年額約1億4200万円です。光熱水費は、4千万円程度を想定しています。

市の財政支出は

Q 運営事業者への指定管理料の内訳と市が支払う光熱水費は年間いくらか。



質問事項

- ◆佐原駅周辺地区複合公共施設
- ◆新型コロナ対策

A 1階に千葉銀行とカフェ、3階に社会福祉協議会が入居予定です。利用時間は、図書館と子育て世代支援施設が午前9時から午後7時まで、公民館が午前9時から午後10時まで、観光情報発信施設が午前9時から午後5時までです。テナントは入居する事業者の運営時間によります。

現状の運行を維持 しつつデマンド 交通の活用を



幅広い世代の交通手段として活躍する路線バス

Q 路線バスと乗合タクシーの運行経費の赤字補てん額と受益者負担率は。また、見直しは必要か。

A 乗合タクシーの受益者負担率は12.5%で行政負担額は947万8千円です。民間タクシーとの運賃格差が広がっており、運賃見直しが必要と考えています。路線バスの受益者負担率は24.9%で行政負担額は約4206万円です。

Q 遠隔地の人に対して、自宅から公共交通に接続するスマートデマンド交通システムの導入を検討できないか。

A 新たな技術は今後も開発が進んでいくため、引き続き情報収集し研究していきます。

避難所の感染対策は

Q コロナ禍で自然災害が発生した場合の避難所運営の概要は。

A 避難所対応マニュアルを作成し、避難所開設訓練を実施しています。発熱や体調不良等のある人の専用スペースやトイレの確保、避難者の体調管理における保健師との連携や状態に応じた医療機関への搬送手順、通信手段を確保する移動系防災行政用無線の操作方法などを確認しました。

Q 換気用の送風機の配備予定と長期停電対策としての発電機などのリース業者との災害協定の提携状況は。

A 送風機は現在、購入に向けて準備を進めています。発電機に関する協定は、平成29年3月に(一社)千葉県建設業協会香取支部等と提携しています。

市の害獣対策は

Q 各猟友会への委託料と従事者数は。また、捕獲したイノシシの処理および費用は。

A 佐原猟友会は12人で委託料は64万2千円。香取東部猟友会小見川支部は5人で委託料は13万円。香取東部猟友会山田支部は5人で委託料は10万3千円。処理は、約9割が伊地山フリーンセンターで焼却、状態のよい約1割は猟友会員の食用。費用は手数料減免のため負担はありません。

Q 今年開業したジビエ工房茂原では、捕獲したイノシシの回収をしているが、市でも連携をとれないか。

A すでに提携している自治体の視察等を行い、猟友会のほか関係機関と協議したいと考えます。

質問事項

- ◆デマンド交通
- ◆新型コロナウイルスと災害対策
- ◆市の害獣対策